

製品名: UCP1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86749**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.1mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:500-1:2000,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:33 kDa; Observed MW:33 kDa

抗原情報

遺伝子名	UCP1
別名	Ucp; Slc25a7; AI385626
遺伝子 ID	22227
SwissProt ID	P12242
免疫原	マウス UCP1 の合成ペプチド

背景

ミトコンドリア脱共役タンパク質 (UCP) は、ミトコンドリア陰イオン輸送タンパク質 (MACP) ファミリーの一員です。UCP は、

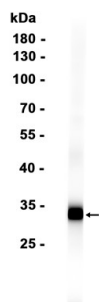
酸化的リン酸化と ATP 合成を分離し、そのエネルギーは熱として散逸します。この現象はミトコンドリアプロトンリークとも呼ばれます。UCP は、ミトコンドリア内膜から外膜への陰イオンの移動と、外膜から内膜への陽子の移動を促進します。また、哺乳類細胞においてミトコンドリア膜電位を低下させます。UCP の種類によって組織特異性があり、UCP が H⁺/OH⁻ を輸送する正確な方法は解明されていません。UCP は MACP の相同タンパク質ドメインを 3 つ含んでいます。この遺伝子は、熱産生を担う特殊な組織である褐色脂肪組織でのみ発現しています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

-

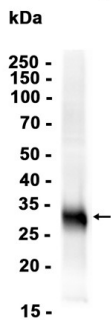
画像データ

Mouse brown adipose



UCP1 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用してマウス褐色脂肪組織抽出物のウェスタンブロット分析を行いました。

Rat kidney



AMRe86749 を 1:1000 で使用してラットの腎臓組織抽出物をウェスタンブロット分析しました。